

株式会社クエスト

(東京証券取引所スタンダード:2332)

2026年度 第1四半期

(2027年3月期)

決算補足説明資料

2026年8月13日

株式会社クエスト

1. 2026年度第1四半期実績

連結



- 売上高は前年同期を上回り、通期業績予想に対して25%を超える進捗となり、順調に推移
- 利益、EBITDAは前年同期を下回ったものの、収益性改善に向けた取り組みを進め、通期業績予想達成を目指す

単位：百万円(百万円未満切捨て)

	2025年度1Q 実績	2026年度1Q 実績	増減額	増減率	2026年度通期 業績予想	対通期業績予想 進捗率
売上高	4,383	4,711	+328	+7.5%	18,300	25.7%
営業利益	220	212	-8	-3.4%	1,260	16.8%
営業利益率	5.0%	4.5%	-	-0.5Point	6.9%	-
経常利益	235	224	-11	-4.7%	1,285	17.4%
経常利益率	5.4%	4.8%	-	-0.6Point	7.0%	-
純利益	152	141	-11	-7.4%	856	16.5%
EBITDA	285	276	-9	-3.2%	1,491	18.5%
EBITDA/売上高	6.5%	5.9%	-	-0.6Point	8.2%	-

※ EBITDA = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + 顧客関連資産償却費 + のれん償却費

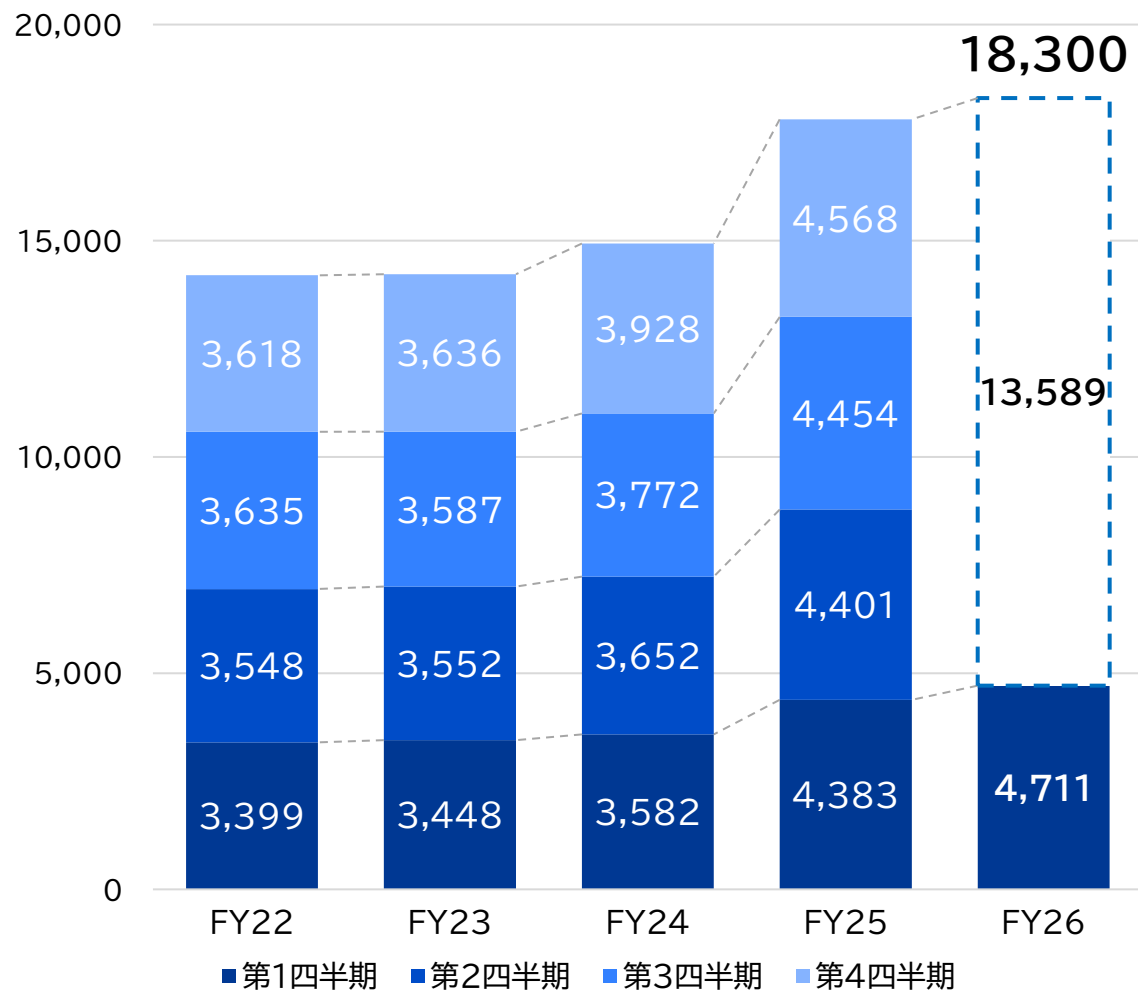
2. 四半期別推移

連結



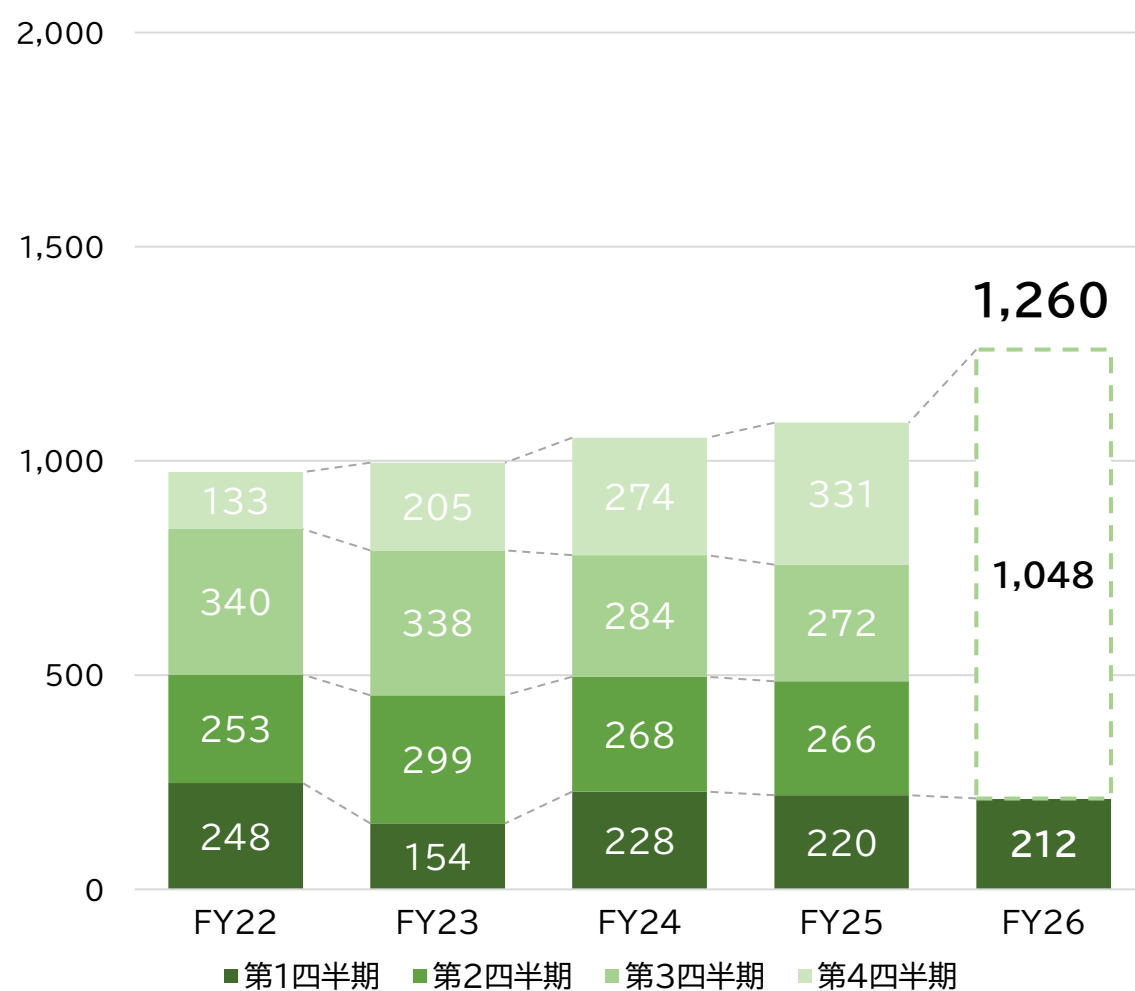
売上高

単位:百万円(百万円未満切捨て)



営業利益

単位:百万円(百万円未満切捨て)



3. 顧客産業別売上高(ポートフォリオ比較)

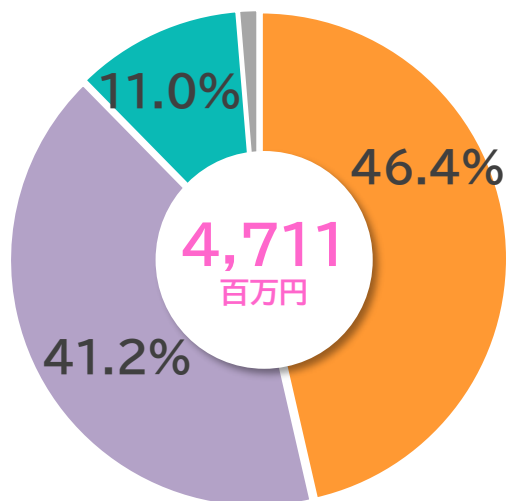
連結



- 顧客産業の需給動向に応じて、適切なリソース配分を行いポートフォリオマネジメントを実践
- 前年同期比でのポートフォリオの変動はなし ※FY25よりグループインしたセプトにより安定成長領域の割合が拡大

2026年度第1四半期

顧客産業別売上高構成比(3社連結)



重点強化領域 +160百万円 (前年同期比 +7.9%)

- ・ 主に製造分野顧客におけるIT運用保守領域のアウトソーシングビジネス拡大が大きく寄与 (2026年5月29日リリース: [デクセリアルズ株式会社との契約締結のお知らせ](#))

安定成長領域 +105百万円 (前年同期比 +5.8%)

- ・ 請負開発案件等の受注により、金融、エンタテインメント、情報通信の各産業ともバランスよく拡大
特に情報通信産業では、セプト社による売上拡大が大きく寄与

社会課題解決領域 +73百万円 (前年同期比 +16.5%)

- ・ 主に公共・社会分野顧客のインフラサービス案件拡大が寄与
- ・ ヘルスケア・メディカル、移動・物流も追加の案件獲得により大きく成長

重点強化領域

半導体+製造

安定成長領域

金融+エンタテインメント+情報通信

社会課題解決領域

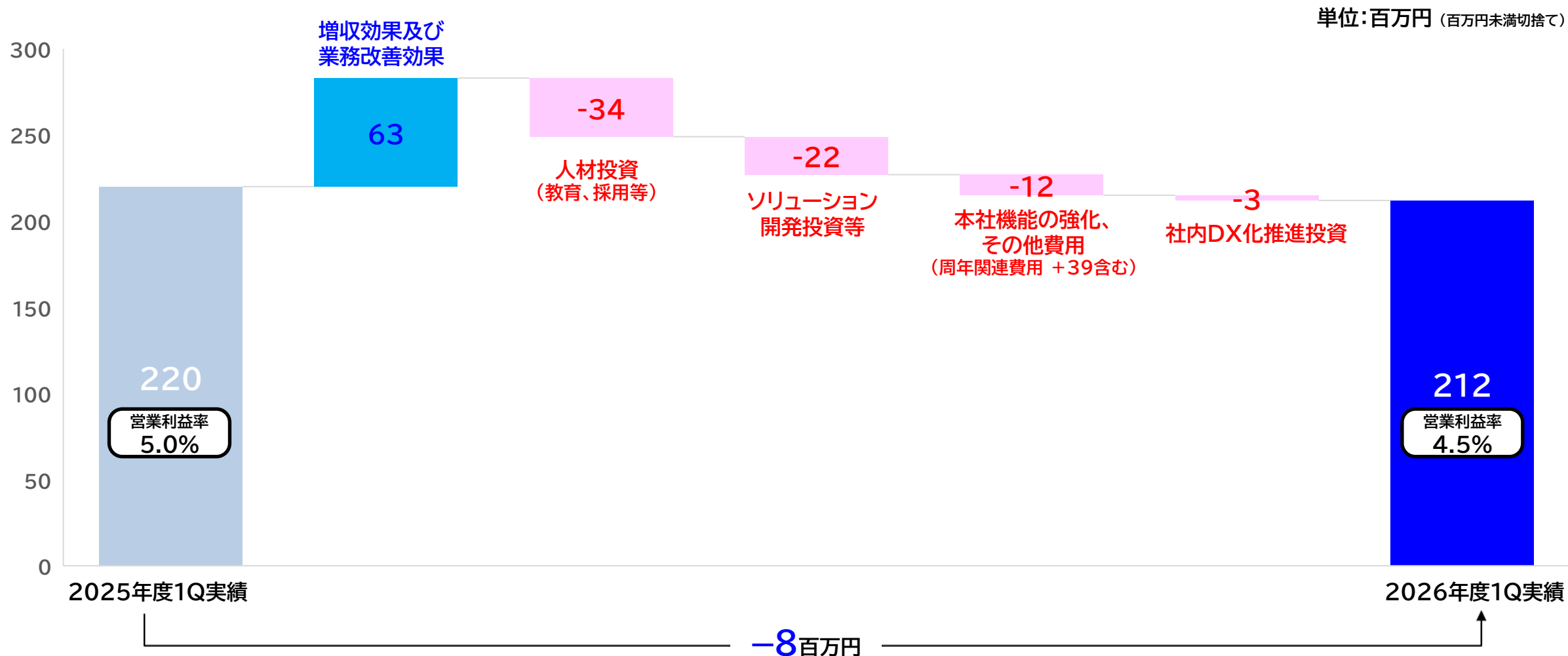
公共・社会+移動・物流+ヘルスケア・メディカル

4. 営業利益の増減要因(前年同期比較)

連結



➤ 増収による利益押上げ効果があった一方で、人材および技術への成長投資を継続



- 本資料は、当社の業績及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載されていますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更される場合があります。
- 本資料利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。



Digital Future As One

共にひとつになってデジタルの未来を。